

スポーツ・コンベンションセンターワークショップの実施状況等について

1 第 1 回ワークショップの結果概要**(1) テーマ**

「敷地とその周辺を歩いて、建物の使いかたを一緒に考えよう」

(2) 日時

令和 8 年 7 月 20 日（月・祝）13:00～16:30

(3) 場所

カクイクス交流センター 大研修室 2

(4) 参加者

32 名

(5) 主な内容

①オリエンテーション

②整備予定地（ドルフィンポート跡地）とその周辺の視察

③グループワーク（6 グループ）

(6) 参加者の主な意見

① スポーツの振興

- ・ バスケコートが 6 面あるのがありがたい。部活動の県大会では、県内各地を会場とした分散開催になり、離島の方々が苦勞している現状がある。

② 中心市街地の活性化・賑わいの創出

- ・ スポーツやイベントだけではなく、普段から使われる施設になってほしい。
- ・ 大物アーティストのコンサート誘致のため、サブアリーナとの一体的な活用や、ウォーターフロントパークとまとめて一つの空間としてイベント会場とするなどの工夫が必要だと思う。
- ・ 飲食店が並ぶグルメイベントをする際には、屋台やキッチンカーと別に、施設内に調理ができる機能を設けて、イベントに使えるようにすれば、内外でイベントができると思う。
- ・ コンサート使用の場合の搬入口、楽屋の場所などの動線をしっかり考えた設計にしてほしい。
- ・ 子どもが遊べるスペース、親子でそろって遊べるスペースになってほしい。

③ 災害対応機能

- ・ 調理機能があれば、災害時にも炊き出しで使えると思う

④ 景観

- ・ ウォーターフロントパークから多目的広場へ一体的に緑が続くようになってほしいと思う。
- ・ ウォーターフロントパークが近いのに、水の要素が少ないので、噴水など水と親しむ場があった方がいいのではないかなと思う。旧ドルフィンポートにあった足湯が復活すると嬉しい。

⑤ 交通アクセス

- ・ 港が近いので、離島に行く前や離島から来た人が気軽に立ち寄れる場所になってほしい。

⑥ 利便性

- ・ 電気自動車の充電スポットやベンチの脇に電源、コンセントを設けるなどの配慮があれば重宝されると思う。

(7) 当日の様子



整備予定地周辺を歩く様子



整備予定地の視察



グループワークの様子①



グループワークの様子②

2 第2回ワークショップの結果概要

- (1) テーマ
子どもワークショップ「アリーナの使いかたを一緒に考えよう」
- (2) 日時
令和8年8月22日（土）13:00～15:30
- (3) 場所
県庁2階講堂
- (4) 対象
小学3年生から中学生とその保護者
- (5) 参加者
38名（保護者17名、子ども21名）
※小学生14名、中学生7名
- (6) 主な内容
 - ①オリエンテーション
 - ②ミニレクチャー①（設計者）
 - ③ミニレクチャー②（あなぶきアリーナ香川 館長 蔵下 泰豊 氏）
 - ④グループワーク（5グループ）

(7) ミニレクチャー（あなぶきアリーナ香川館長）概要

- ・ あなぶきアリーナ香川は昨年2月にオープンし、1年間で69万人が来館した。スポーツ利用のほか、これまでに色々なイベントに活用していただいている。
- ・ 大相撲巡業や「さぬき高松まつり」などのイベントのほか、小学校の社会科見学や防災宿泊訓練といったことにも利用されている。
- ・ 朝9時から夜9時までの営業が基本となっており、こうしたイベントのほか、小学校の団体や中学校の部活動、社会人のクラブ活動などに日常的に使っていただいている。
- ・ メインアリーナに入っていくエントランスに交流エリアがあり、カフェもある。瀬戸内海が見えて眺望もよく、アリーナ周辺にお住まいの皆さんが散歩に来られたり、近隣の会社の方がお昼休みに来られたりと日常になじんだ雰囲気になっているのではないかと考えている。

(8) 参加者の主な意見

① スポーツの振興

- ・ バレーボールをしているので、広い体育館でやってみたい。
- ・ スポーツが苦手な人でも体育館が使用できるよう、eスポーツができるようにしてほしい。

② 中心市街地の活性化・賑わいの創出

- ・ ドッグレースができる場所が少ないので、スポーツ・コンベンションセンターでできるようになれば、県外からも来てもらえる場所になると思う。
- ・ スケートボードの練習場に使いたい。アリーナのような場所が使用できれば、安全に練習できると思う。
- ・ 色々な遊びができる体育館になればいい。トランポリンや滑り台を友人とやってみたい。
- ・ 暑さ対策で学校の校庭で遊べないため、校庭でできるような遊びを楽しめる場所にしてほしい。
- ・ 放課後にふらっと行ける場所になるとよい。
- ・ 大学や就職などに興味があるため、企業や大学の関係者と交流ができるとよいと思う。

③ その他

- ・ 誰でもこの体育館を使えるためには、スポーツのために利用するばかりではなく、ハンモックなどを用意して、のんびりとここで過ごすという使い方ができるとよいと思う。

(9) 当日の様子



オリエンテーション



ミニレクチャー（あなぶきアリーナ香川 蔵下館長）



グループワークの様子①



グループワークの様子②

3 第3回ワークショップの概要（予定）

(1) テーマ

「施設に期待する役割は何か考えよう」

(2) 日時

令和8年10月12日（土）13:00～16:00

(3) 場所

カクイックス交流センター 大研修室3

(4) 参加者

- ・ 1部：50名
- ・ 2部：1部の参加者のうち20名

※ 参加費無料

※ 応募者多数の場合は抽選

募集期間：9月9日（水）～10月2日（金）

(5) 主な内容

<第1部>

①オリエンテーション

②ミニレクチャー①（設計者）

③ミニレクチャー②（NASCA 代表取締役 古谷 誠章 氏） ※

④ミニレクチャー③（MICE makes LINK 主宰 小島 規美江 氏） ※

※ 設計業務公募型プロポーザル審査会委員

<第2部>

⑤座談会

（古谷氏、小島氏、設計者、参加者）

敷地とその周辺を歩いて、

建物の使いかたを一緒に考えよう

第1回 鹿児島県スポーツ・コンベンションセンター ワークショップ

vol. **01**



illustration. naomi

鹿児島県では、新たな総合体育館である
「スポーツ・コンベンションセンター」の整備に取り組んでおります。
その一環として、県民の皆さまと同センターを考える
ワークショップを開催します。ぜひ一緒に考えてみませんか？

7/20 月曜日 **13:00~16:30** 12:30 受付開始 雨天決行 定員 **30名** / 参加費無料
会場 | カクイクス交流センター 東棟3階 大研修室2 (鹿児島県鹿児島市山下町14-50)
アクセス→市電「水族館口電停」徒歩4分 駐車場→有

内容 | オリエンテーション ▶ 敷地探索 (ドルフィンポート跡地など) ▶ グループワーク ▶ 意見交換

注意事項 ●40分程度の屋外での敷地探索を予定しておりますので、動きやすい服装でお越しください。●屋外では暑さが予想されますので、日傘・帽子のご用意とこまめな水分補給をお願いいたします。●敷地まではバスにて送迎させていただきます。●当日は報道機関による取材・撮影が入る場合があります。あらかじめご了承ください。

お申込みはQRコードもしくはURL (<https://forms.gle/b1QNesciAje1814D9>) より7月8日(水)までにお願いたします。

応募多数の場合は抽選とさせていただきます、参加可否は7月10日(金)に申込者全員にメール通知させていただきます。



ワークショップ問い合わせ先 | 梓設計・SUEP・東条設計共同企業体 (spocon@suep.jp) 主催 | 鹿児島県観光・文化スポーツ部 スポーツ・コンベンションセンター整備課

【次回予告】第2回ワークショップ(8月下旬)「(仮)サブアリーナの使いかた、子ども広場の可能性を考えてみよう」

WORKSHOP DOCUMENT vol. 01

2026.07.20

第1回 鹿児島県スポーツ・コンベンションセンター ワークショップ

敷地とその周辺を歩いて、
建物の使いかたを一緒に考えよう

鹿児島県では、新たな総合体育館である「スポーツ・コンベンションセンター」の整備に取り組んでおります。その一環として、ワークショップを開催しております。

記念すべき第1回目のワークショップには32名の県民のみなさまが参加してくださいました。6グループに分かれ、整備予定地とその周辺を実際に歩き、建物ができたらどんなことがしたいのかみんなで想像しながら探索を行いました。その後、グループワークにてみんなで意見交換してもらいました。



STEP 1 敷地・敷地周辺探索

中心市街地から整備予定地（ドルフィンポート跡地）に向かって実際に歩きながら、「建物ができたらこんな風に見えるのか」と想像を膨らませてもらいました。整備予定地では、VRゴーグルを装着し、スポーツ・コンベンションセンターの内部を仮想体験してもらいました。参加者のみなさまからは「VRで見ることによってイメージがとても膨らんだ」「実際に遊んでいるように想像できて楽しかった」など、VRゴーグルでの仮想体験が参考になったなどの意見が出されました。



パネルをつかった敷地の説明



建物がこんな風に
建つんですね！

イメージがふくらみますね！



VRゴーグルで仮想体験！



STEP 2 グループワーク

敷地探索を通して得た気づきやアイデアを建物の図面に「どこで」「どんなことをしたいか」を書き込んでもらいました。グループで意見を出し合った後、アイデアを発表してもらいました。



たくさんの
アイデアが出ました！

▼話し合いで出た意見（抜粋）

マイアミ通りからの
抜けを大事にしたい

施設内に調理機能があると
内外で飲食イベントができる

いいですね！

搬入口、楽屋の場所などの
動線をしっかり考えてほしい

普段から使われる
施設になってほしい

広いアリーナで
パブリックビューイング
をしたい

バスサージュ広場で
フットサルをしたい

親子で遊べる
スペースがほしい

ウォーターフロント
パークから多目的広場へ
一体的に緑が続くと良い



グループでの話し合いの様子



アンケート結果（回答29件）

Q ワークショップは
楽しかったですか？

大変満足した 16
満足した 11
満足しなかった 0
どちらでもない 2

Q 次回も
参加したいですか？

ぜひ参加したい 14
できれば参加したい 12
参加したくない 0
どちらでもない 3

今回のワークショップについて、9割を超える方が「大変満足した」「満足した」とご回答いただき、次回以降のワークショップも約9割の方が「参加したい」とご回答いただきました。

敷地を歩いてのご感想や、
設計についてのご意見
もいただきました。

特設ホームページを作って、
発信をしてほしい

スポーツ・コンベンションセンターは
別の場所でもいいのでは？

実際に現場に行き、想像できた

VRで見たガラス張りのメインアリーナが
とても印象的であり、桜島の眺望が鹿児島
らしくて良いと思った

今後の社会実験が
気になる

！参加者のみなさまからのメッセージ！



最後に、参加者のみなさまに任意で
「スポーツ・コンベンションセンターが
どんな施設になることを期待しますか？」
というメッセージをいただきました。

スポーツ・コンベンションセンター第1回ワークショップ
アンケート回答結果について

1 結果概要

- (1) 対 象 第1回ワークショップ参加者（ワークショップ終了後に回答）
(2) 回答数 29人

2 回答状況

【性別】

性別	男性	22	75.9%
	女性	7	24.1%
	回答しない	0	0.0%
	計	29	100.0%

【年齢】

年齢	小学生	0	0.0%
	中学生	0	0.0%
	高校生以上	1	3.4%
	20代	9	31.1%
	30代	2	6.9%
	40代	4	13.8%
	50代	6	20.7%
	60代	5	17.2%
	70代	2	6.9%
	計	29	100%

<選択式の設問>

【問1】 今回のワークショップはいかがでしたか。

満足度	大変満足した	16	55.2%
	満足した	11	37.9%
	どちらともいえない	2	6.9%
	満足しなかった	0	0.0%
	計	29	100.0%

【問2】 次回以降のワークショップにも参加したいと思いますか。

次回以降参加したいか	ぜひ参加したい	14	48.3%
	できれば参加したい	12	41.4%
	どちらともいえない	3	10.3%
	参加したくない	0	0.0%
	計	29	100.0%

<自由記述の設問>

【問3】 敷地や周辺を歩いてみて、気づいたことや感じたことを教えてください。(26件)

※ 下記意見は、主なものを抽出し、主旨を変更しない範囲で表記を整えています。

(1) 景観・立地に関する意見

- ・ ロケーションが思った以上に良い。桜島の眺望が鹿児島らしくて良い。
- ・ 陸路と海路の結節点として重要な役割を果しつつ、桜島を望める貴重な景観を持った場所だと感じた。
- ・ 桜島の景観はそこまで気にならないと感じた。現地に行ってイメージができた。
- ・ イベント会場として最適地。
- ・ スポーツ・コンベンションセンターは邪魔になる。
- ・ 桜島が見えなくなる。

(2) 人の流れ・にぎわい創出に関する意見

- ・ 車通りは多いが人の流れが少ないので、施設に人の流れを作る力が求められると思った。
- ・ 施設ができることで、回遊性が上がり、賑やかな通りが増えるとよいと思った。
- ・ ウォーターフロントパークなど周辺との関連性が大事だと感じた。

(3) 交通・アクセス・動線に関する意見

- ・ 駐車場は敷地外や立体駐車場がよいのではないか。

(4) 現地視察に関する意見

- ・ リアルに施設のイメージを感じられた。
- ・ VRで見たメインアリーナのガラス張りがとても印象的だった。

<自由記述の設問>

【問4】 今回のワークショップについて、ご意見・ご感想を自由にご記入ください。(27件)

※ 下記意見は、主なものを抽出し、主旨を変更しない範囲で表記を整えています。

(1) ワークショップに関する意見

- ・ 活発なグループワークができ、他のグループの発表を聞いても多様なアイデアが出ていて、非常に有意義なワークショップだと感じた。
- ・ 設計関係者や県民の方々との意見交換ができてよかった。
- ・ 可能、不可能な点はあるが、県民の意見を取り入れようという雰囲気があり、良かったと思う。
- ・ JVの方々は相当な試行錯誤を経てこのプランを作り上げたことが改めて分かり、とても安心し、期待が高まった。
- ・ 設計の方とも話しながら敷地を見ることができて良かった。一部の参加者が否定的な意見に偏っていたのが残念だった。

(2) その他

- ・ スポコン専用SNSなどを作って発信してほしい。
- ・ こうした取組をもっとやってほしい。
- ・ 建築費高騰の問題が気になる。
- ・ スポーツ・コンベンションセンターは必要ない。

<自由記述の設問>

【問5】 今後もワークショップを開催する予定です。取り上げてほしいテーマや、話し合ってみたい内容があれば教えてください。(16件)

※ 下記意見は、主なものを抽出し、主旨を変更しない範囲で表記を整えています。

- ・ 建物の安全性、防災など。
- ・ 夜のスポーツ・コンベンションセンターの活用方法を検討できるビアガーデンやバーベキューのワークショップ。
- ・ 身体障害者のワークショップ。
- ・ 地域とのつながり、地域振興との関係。
- ・ ウォーターフロントエリアとの関係性。
- ・ スポーツ・コンベンションセンターは別の場所で良いのではないか。
- ・ 施設の必要性（必要か否か）。

<選択式の設問>

【問6】 スポーツ・コンベンションセンターがどのような施設になることを期待していますか。(複数選択可)

	(人)
スポーツや健康づくりに役立ち、イベントにも活用できる施設	20
桜島の景観に合った、鹿児島らしいシンボルとなる施設	15
観光客も訪れ、街ににぎわいが生まれる施設	17
子どもから高齢者、障がいのある方まで誰もが使いやすい施設	17
環境にやさしく、省エネ性能の高い施設	10
災害時にも役立つ、安全・安心な施設	19
その他 ※	2

※ その他

- ・ 体育館が欲しい

<自由記述の設問>

【問7】 整備にあたり、特にどういった点に配慮してほしいですか。(25件)

※ 下記意見は、主なものを抽出し、主旨を変更しない範囲で表記を整えています。

(1) コストに関する意見

- ・ 必要最小限の設備。
- ・ アスリートファーストとランニングコストの両立。
- ・ 持続的に運営できる施設にしてほしい。

(2) 施設の利用に関する意見

- ・ 清潔で便利な施設。
- ・ 意匠性だけでなく使いやすい施設であってほしい。
- ・ 日常的に使える施設にしてほしい。パブリック空間として開かれた施設にしてほしい。
- ・ トイレの充実。女子トイレが混まないようにしてほしい。
- ・ スポーツだけではなく、文化的な活動もできる施設になってほしい。
- ・ 子どもたちが一流のプレーを間近で見ることができる競技を開催してほしい。

(3) 交通・アクセス・動線に関する意見

- ・ 周辺の混雑緩和。大人数の利用時に混雑しないような動線づくり。
- ・ 駐車場や駐輪場、交通アクセスなどこの場所に来やすい環境づくり。
- ・ 設備搬入用トラックの動線確保。

(4) 景観や地域との調和に関する意見

- ・ 周辺住民への配慮。
- ・ 桜島との調和。
- ・ 鹿児島らしい施設にしてほしい。
- ・ 鹿児島の素材の活用。

(5) 環境・脱炭素に関する意見

- ・ LCCO₂への配慮。
- ・ 景観やエネルギーへの配慮。ゼロエミッションにつながる施設。

(6) 情報発信に関する意見

- ・ 特設ホームページを作成し、ワークショップの告知などを発信してほしい。

<自由記述の設問>

【問8】 その他、ご意見があれば自由にご記入ください。(10件)

※ 下記意見は、主なものを抽出し、主旨を変更しない範囲で表記を整えています。

- ・ どんどん議論すべきである。
- ・ 楽しく話し合いができた。良い体験ができた
- ・ 「〇〇の聖地」のような特色づくりは魅力的だと思う。
- ・ 様々なスポーツやエンタメを楽しめる機会が増えることを期待している。
- ・ 今後のワークショップや社会実験も気になる。
- ・ 施設への興味を持つことができた。
- ・ 建設に伴う騒音や渋滞が気になる。
- ・ 現在の計画は夢物語。現実的ではない。

子どもワークショップ アリーナの使いかたを一緒に考えよう

第2回 鹿児島県スポーツ・コンベンションセンター ワークショップ
vol. **02**



illustration: naomi

鹿児島県では、新たな総合体育館である
「スポーツ・コンベンションセンター」の整備に取り組んでおります。
その一環として、県民の皆さまと同センターを考える
ワークショップを開催します。ぜひ一緒に考えてみませんか？

8/22 土曜日 13:00~15:30 12:30 受付開始 定員 **20組** 対象 **小学3年生~中学生とその保護者**
会場 | 鹿児島県庁 2階 講堂(鹿児島県鹿児島市鴨池新町10-1)
アクセスバス「県庁前停」徒歩3分 駐車場→有

要事前申込

参加費無料

内容 | オリエンテーション▶ミニレクチャー▶グループワーク▶意見交換

注意事項 ●本イベントには、保護者の方もご一緒にご参加ください。●当日は報道機関による取材・撮影が入る場合があります。あらかじめご了承ください。●お子様の見守りにつきましては保護者の皆様のご協力をお願いいたします。



蔵下 泰豊

くらした やす とよ
あなぶきアリーナ香川
(香川県立アリーナ館長)

ゲスト講師

お申込みはQRコードもしくはURL (<https://forms.gle/CwdwDLXvR8nPr21R7>) より8月12日(水)までにお願いいたします。

応募多数の場合は抽選とさせていただきます、参加可否は8月17日(月)に申込者全員にメール通知させていただきます。



ワークショップ問い合わせ先 | 梓設計・SUEP・東条設計共同企業体 (spocon@suep.jp) 主催 | 鹿児島県観光・文化スポーツ部 スポーツ・コンベンションセンター整備課

【次回予告】第3回ワークショップ(10月中旬)「テーマ調整中」

WORKSHOP DOCUMENT vol. 02

2026.08.22

第2回 鹿児島県スポーツ・コンベンションセンター ワークショップ

子どもワークショップ アリーナの使いかたを一緒に考えよう

鹿児島県では、新たな総合体育館である「スポーツ・コンベンションセンター」の整備に取り組んでおります。その一環として、ワークショップを開催しております。

第2回目のワークショップには17組38名の小学3年生～中学3年生のお子さんとその保護者のみなさまが参加してくださいました。あなぶきアリーナ香川館長の蔵下さんのミニレクチャーのあと、参加者は5グループに分かれ、アリーナでどんなことをしてみたいかをテーマにそれぞれのアイデアを絵で表現しました。



STEP 1 ミニレクチャー

あなぶきアリーナ香川館長の蔵下泰豊(くらした やすとよ)さんをゲストにお迎えし、ミニレクチャーを行いました。蔵下さんからは、あなぶきアリーナ香川が香川県の総合体育館としての役割を担うだけでなく、さまざまな用途で活用されている事例についてご紹介いただきました。

紹介のあった事例として、「みなスポ!かがわ」というイベントでは、バスケットボールや卓球など約20種類のレクリエーションコーナーが設けられ、子どもからお年寄りまで幅広い世代が楽しめるイベントが開催されたそうです。また、「防災宿泊訓練」では、小学生が災害時を想定して、アリーナで避難所生活を体験し、自衛隊の協力のもと、実際に宿泊しながら防災について学んだとのことでした。



蔵下さんがレクチャーしている様子



みなスポ!かがわ

防災宿泊訓練

いつ完成するの?

どんなことができるかな?



レクチャーを聞く子どもたちの様子

STEP 2 グループワーク

ミニレクチャーで紹介された活用事例を参考に、子どもたちがメインアリーナ・サブアリーナのバース図に、「やってみたいこと」をイメージした切り抜き写真を貼り付けて、一枚の作品を作りました。その後、それぞれがアリーナでやってみたいことを発表しました。



ほうか後 校庭みたいに使いたい

なまけものになるひ

ミライラボ



すずしい公園



▲子どもたちの作品紹介(抜粋)

どんなことして遊べるかな



子どもたちがコラージュしている様子

アンケート結果(回答15件)

Q ワークショップはいかがでしたか?

大変満足した 7
満足した 7
満足しなかった 0
どちらでもない 1

Q 次回も参加したいですか?

ぜひ参加したい 4
できれば参加したい 9
参加したくない 1
どちらでもない 1

今回のワークショップについて、9割を超える方が「大変満足した」「満足した」とご回答いただき、次回以降のワークショップも約9割の方が「参加したい」とご回答いただきました。また、回答されたすべてのみなさまがスポーツ・コンベンションセンターが完成したら「ぜひ利用したい」「機会があれば利用したい」とご回答いただきました。

保護者を含め、他にも皆さまから様々なご意見をいただきました。

スポコン...?という感じだったが、自分たちが楽しめる場所だとわかった

県民として鹿児島を盛り上げたい

「駐車場の確保」「周辺の交通整理」へ配慮してほしい

県内最高の立地なので、観光県鹿児島への集客につながるベイサイドエリアに仕上げてください

参加者のみなさまからのメッセージ!



最後に、参加者のみなさまに任意で「スポーツ・コンベンションセンターがどんな施設になることを期待しますか?」というメッセージをいただきました。

スポーツ・コンベンションセンター第2回ワークショップ
アンケート回答概要について

1 結果概要

- (1) 対 象 第2回ワークショップ参加者（ワークショップ終了後に回答）
 (2) 回答数 15組（大人15人、子ども19人、合計34人）

2 回答状況（保護者）

【保護者の性別】

保護者の性別	男性	8	53.3%
	女性	6	40.0%
	回答しない	1	6.7%
	計	15	100.0%

【保護者の年齢】

保護者の年齢	30代	2	13.3%
	40代	7	46.7%
	50代	6	40.0%
	計	15	100%

<選択式の設問>

【問1】 今回のワークショップはいかがでしたか。

満足度	大変満足した	7	46.7%
	満足した	7	46.7%
	どちらともいえない	1	6.7%
	満足しなかった	0	0.0%
	計	15	100.0%

【問2】 次回以降のワークショップにも参加したいと思いますか。

次回以降参加したいか	ぜひ参加したい	4	26.7%
	できれば参加したい	9	60.0%
	どちらともいえない	1	6.7%
	参加したくない	1	6.7%
	計	15	100.0%

<自由記述の設問>

【問3】 今回のワークショップについて、ご意見・ご感想を自由にご記入ください。（15件）

※ 下記意見は、主なものを抽出し、主旨を変更しない範囲で表記を整えています。

(1) ワークショップに関する意見

- ・ 子どもが考える時間がたくさんあってよかった。
- ・ 子供の素直な意見が非常に面白かった。
- ・ 当日にワーク内容の説明があるより、事前にどのような意見が必要か明示されていた方が、子供達が理解しやすく、参画もしやすいと思う。グループワークは非常に楽しくすることができた。
- ・ 資料や模型でより完成のイメージが湧いた。子供と一緒に使い方を考えることができて関心が深まった。よい施設になることを期待している。
- ・ 未来の姿を想像しながら、親子で「やってみたい事」を考えて、絵を描いた

り、コラージュしたりできたのが、楽しかった。また、他県の活用事例も学べて勉強になった。

- ・ 今後できる施設の活用方法を考えるという夢のあるワークショップに参加できて、とてもよい経験になった。
- ・ 色々な意見を聞くことができ、楽しく参加できて良かった。
- ・ 実際の施設のイメージをより具体的に知ることができる貴重な体験になった。

(2) その他

- ・ スポーツ・コンベンションセンターが身近に感じた。
- ・ 設計から話を聞くことができてよかった。
- ・ 資料や模型でより完成のイメージが湧いた。
- ・ 何をするのかわからず、前回の様子を参考に申し込みましたが、全然違う作業で残念だった。

<自由記述の設問>

【問4】 今後もワークショップを開催する予定です。取り上げてほしいテーマや、話し合ってみたい内容があれば教えてください。(12件)

※ 下記意見は、主なものを抽出し、主旨を変更しない範囲で表記を整えています。

(1) テーマ

- ・ 障害者から見た体育館
- ・ 中高生のスポーツ大会で鹿児島市内で出来ない種目（卓球とか）が出来るよう研究して欲しい。
- ・ 施設の構造、仕組みなどの説明
- ・ カフェや販売店などのショップについて
- ・ 鹿児島らしさ
- ・ 使われる資材など鹿児島県と関連する部分
- ・ 周辺施設や周辺住民との連携
- ・ 防災、地域交流について

(2) その他ワークショップの進め方に関する提案

- ・ 大人の意見やアイデアも少し出せたら良いと思う。
- ・ 年齢層を絞って話し合いをしたらアイデアは深まると思う。

<選択式の設問>

【問5】 スポーツ・コンベンションセンターがどのような施設になることを期待していますか。(複数選択可)

(人)

スポーツや健康づくりに役立ち、イベントにも活用できる施設	11
桜島の景観に合った、鹿児島らしいシンボルとなる施設	11
観光客も訪れ、街ににぎわいが生まれる施設	8
子どもから高齢者、障がいのある方まで誰もが使いやすい施設	10
環境にやさしく、省エネ性能の高い施設	5
災害時にも役立つ、安全・安心な施設	10
その他 ※	1

※ その他

- ・ 中央駅街区、天文館街区に次ぐ新しい街の核になって欲しい。

<選択式の設問>

【問 6】 スポーツ・コンベンションセンターが完成したら利用してみたいと思いますか。

完成したら利用したいか	ぜひ利用したい	14	93.3%
	機会があれば利用したい	1	6.7%
	どちらともいえない	0	0.0%
	利用したくない	0	0.0%
	計	15	100.0%

<自由記述の設問>

【問 7】 問 6 にてご回答された理由をお聞かせください。(12 件)

※ 下記意見は、主なものを抽出し、主旨を変更しない範囲で表記を整えています。

- (1) 問 6 の回答が「ぜひ利用したい」
 - ・ とても近代的でカッコいい施設になりそうだから。
 - ・ 鹿児島県のシンボルになりそうだから。
 - ・ スポーツだけではなく利用の仕方があることを知ったので、憩いの場として捉えたい。
 - ・ 家族でリラックスできる場所になりそうだから。
 - ・ 今までにない施設ができるので、できた後に使えるのが楽しみ。
 - ・ 身近な施設になりそうだから。
 - ・ 県民として鹿児島を盛り上げたいと願っているから。
- (2) 問 6 の回答が「機会があれば利用したい」
 - ・ 一般的な回答だと思う。

<自由記述の設問>

【問 8】 整備にあたり、特にどういった点に配慮してほしいですか。(13 件)

※ 下記意見は、主なものを抽出し、主旨を変更しない範囲で表記を整えています。

- (1) バリアフリー・ユニバーサルデザインへの配慮
 - ・ 障害者への配慮
 - ・ ユニバーサルデザインへの配慮
 - ・ 子供からお年寄りまで気軽に立ち寄れる施設
 - ・ 普段から使えるような施設
- (2) 交通・駐車場対策
 - ・ 周辺の交通整理や大規模イベント時の人の流れ
 - ・ 利用しやすい駐車場の確保、車の渋滞対策
- (3) その他
 - ・ 安全性への配慮
 - ・ 景観への配慮
 - ・ ドルフィンポート跡地は鹿児島でも最高のロケーションなので、建物だけでなく広い視点で計画を進めてほしい。

<自由記述の設問>

【問9】 その他、ご意見があれば自由にご記入ください。(2件)

※ 下記意見は、主なものを抽出し、主旨を変更しない範囲で表記を整えています。

- ・ 県内最高の立地だと思います。かけるところには思いきって予算をかけて観光県鹿児島への集客につながるようなベイサイドエリアに仕上げてください。人が減っていく時代です。観光客が集まれば地元も潤うのではないかな。

3 回答状況(子ども)

【子どもの性別】

子どもの性別	男性	9	47.4%
	女性	9	47.4%
	回答しない	1	5.2%
	計	19	100.0%

【子どもの年齢】

子どもの年齢	小学3年生	6	31.6%
	小学4年生	2	10.5%
	小学5年生	2	10.5%
	小学6年生	2	10.5%
	中学1年生	2	10.5%
	中学2年生	3	15.8%
	中学3年生	2	10.5%
	計	19	100%

<選択式の設問>

【問1】 今日のワークショップは楽しかったですか。

満足度	とても楽しかった	13	68.4%
	楽しかった	6	31.6%
	どちらともいえない	0	0.0%
	満足しなかった	0	0.0%
	計	19	100.0%

<自由記述の設問>

【問2】 どんなところが楽しかったですか。もしあれば教えてください。(14件)

※ 下記意見は、主なものを抽出し、主旨を変更しない範囲で表記を整えています。

- ・ 磁石で体育館をつくったところ。
- ・ 自分の意見をたくさんの人と共有できたこと。
- ・ 自分が考えた使い方を発表できたり、たくさんの方の意見を知れたりしたところ。
- ・ 遊ぶだけではなくて、いろんな視点を入れてアイデアが出せたこと。
- ・ アリーナの内部が分かって完成をイメージできたところ。

参加者・ゲスト・設計者で囲む座談会

第3回 鹿児島県スポーツ・コンベンションセンター ワークショップ

vol. **03**

施設に期待する役割は何か考えよう



illustration: naomi

鹿児島県では、新たな総合体育館である「スポーツ・コンベンションセンター」の整備に取り組んでおります。今回は、設計業務公募型プロポーザル審査会の委員長の古谷氏と委員の小島氏をゲストにお招きし、ワークショップを開催します。

10/12 月曜日

13:00~16:00

12:30
受付開始

定員

第1部 **50名**
第2部 **20名**

要事前申込
参加費無料

会場 | カクイクス交流センター 東棟4階 大研修室3 (鹿児島県鹿児島市山下町14-50)
アクセス→市電「水族館口電停」徒歩4分 駐車場→有

第1部 13:00~14:30

ゲストレクチャー

第2部 14:30~16:00

座談会・質疑応答

ゲスト



ふるや のぶ あき
古谷 誠章
NASCA 代表取締役



こじま きみえ
小島 規美江
MICE makes LINK 主宰

注意事項 ●第2部の座談会・質疑応答は第1部に参加された方のみ参加可能です。●当日は報道機関による取材・撮影が入る場合があります。あらかじめご了承ください。

お申込みはQRコードもしくはURL (<https://forms.gle/D3KJE4CKTehCkRUx8>) より10月2日(金)までお願いいたします。

応募多数の場合は抽選とさせていただきます、参加可否は10月5日(月)に申込者全員にメール通知させていただきます。



ワークショップ問い合わせ先 | 梓設計・SUEP・東条設計共同企業体 (spocon@suep.jp) 主催 | 鹿児島県観光・文化スポーツ部 スポーツ・コンベンションセンター整備課 TEL | 099-286-2360

【次回予告】第4回ワークショップ(11月下旬)「テーマ調整中」